



# Ayase River Times

みんなで 「ほっと、いっしょに、いきいきと」  
～安心・信頼を大切に 共に考え・学び お互いの自己実現を目指します～

あいのわ福祉会

## <施設長より>

介護の現場では、使命感や奉仕の精神が優先され労働安全衛生対策が十分でない場合が多い。これは、介護する施設職員もご家族も同じである。介護者の腰痛、燃え尽き症候群など様々な問題が起こる。その中でも腰痛は通院歴のある職員、ご家族も多く、大きな課題である。過去、腰椎の同じ椎間がヘルニアを起こし治療している支援員が複数発生した。そんな中、たまたま施設を訪れた訪問看護師に「今でも施設で人が利用者さんをこんなに抱えているのですか」と驚かれてしまった。ずっと抱えてきた課題であり、遅ればせながら、広く天井走行する介護用リフトの導入をすることにした。

通常、重度の身体障がいをお持ちの利用者さんの移乗に際しては、抱えられる側抱える側相互の安全のため2人の支援員で抱えることを原則としている。一度の排泄介助のために車いすから降りる、便座に座る、支える、便座から降りる、車いすに座る、2人の支援員で延べ8回の抱えが必要となることもある。これがおむつ交換のみだと延べ4回。加えてこの間、最も腰に堪える前屈中腰での着衣の着脱、おむつ交換等が実施される。1日の通所中、ひとりの利用者さんに最低でも3回は排泄介助が実施される。また、一日数回は排泄とは関係なく車椅子から降り、床のマットに横になられる。一度マットに横になるのに乗降で延べ4回の抱えが必要となる。もちろん車いすから横になる場所までは細心の注意を払いながら抱えて移動する。多分利用者さんひとりに1日延べ30回程の抱えが必要となる。抱えられる利用者さんも大変だ。現時点でのこのような対応を必要とする利用者さんは、25人程おいでである。単純に計算すると、施設の中で1日延べ750回の抱えが行われることになる。お母様が40年以上おひとりで利用者さんを抱え続けてこられたご家庭もあるかと思うと頭が下がる。

労働安全衛生上、厚生労働省の職場における腰痛予防対策指針では、重量物を取り扱う作業において成人男性では体重の40%以下、女性では男性の60%以下とされている。成人男性の体重を68kgとすれば、男性は27kg、女性は16kgまでということになる。2人抱えできりぎりである。指針に違反しても罰則はない。当施設は、なぜかスリムな男性職員が多いのでこの限度重量はより軽く、指針に反するような気もする。この指針を守るには、マッチョな80kg級の支援員を複数雇用するか、介護用リフトを導入しなければならない。前者はちょっと楽しそうだが実現はかなり困難である。

欧米では、移乗介助が最もリスクの高い介助とされていて介護機器の導入が徹底して行われている。日本では「人の手」の価値が高く感じられている上に、身体に負担があっても手の方が早いという意識がまだある。介護機器の導入により、腰痛の罹患や休業・退職等を減らし、介護という仕事の確立と質の向上を図らなければならぬ。

(太田 記)

## <全体行事より>

1月6日に今年最初の全体行事「成人を祝う会」が行われました。今年成人を迎えたのは、ゆいま～るグループの瀬戸口 千尋さんです。お母さま、お姉さま付き添いの元に盛大に行われました。ご本人は素敵な紺のドレスを着て少し緊張されている様子でした。

お母さまからご本人への手紙の朗読では、温かく優しい気持ちになり、聞いている参加者のみなさんも涙・涙…愛情深く育てられたことを実感したひとときでした。

この全体行事では、別のお楽しみ企画がありました。それは「2分の1の成人式」と題して職員が10才の時の写真を持ち寄り張り出しました。面影ある人、ない人、様々で見ているだけで楽しい気分になりました。

(橋本様 記)



## <クラブより>

### ☆音楽・ダンスクラブ☆

新年最初の音楽・ダンスクラブは「音楽カルタ」をしました。

支援員が作成した西城秀樹やAKB48、SMAP、サザエさんなどのカラフルな写真や絵柄を印刷した音楽クラブのオリジナルカルタを使いました。

CD ラジカセから流れるカルタ札と関連のある曲のイントロが流れる、「これ!」「それ!」「やった~!」と、ここ最近の寒さを忘れる様な熱気あふれるクラブとなりました。

カルタの合間に私はマジックショーや尾臺支援員の新春傘回しなどの余興が入り、新年にふさわしい豪華な?クラブでした。



(三宅 記)

## ☆スポーツクラブ☆

新年1回目のスポーツクラブでは、正月にちなんで「羽子板バレー」をしました。段ボールで羽子板を作り、そこにみんなで絵を描いてオリジナルの羽子板を作成。その後、作成した羽子板を使って風船バレーをして楽しみました。普段、手で行なっている風船バレーと勝手が違いみなさん大苦戦でしたが、今回も大盛り上がりのスポーツクラブでした。

(二宮 記)



## ☆オトナクラブ☆

年初めという事で、オトナクラブでは書初めをしました。1枚は『今年の抱負』でもう1枚はお手本を見て『元気』という字を書きました。それぞれの字に個性があり、皆さんとても真剣な表情で筆を握っていました。園の入口に展示してありますので、お越しの際はぜひ見てみてください。

(小熊 記)



## < 2F にこにこグループより >

グループ活動のリラクゼーションではおみくじの付いた入浴剤を使って足浴をしたり、感覚活動では「ししまい探しゲーム」をして、他の階の利用者さんとコミュニケーションをとったりしました。残り少ないグループ活動が楽しい思い出となるよう、支援員一同頑張って行きたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

(直井 記)



## < 3F ゆいは～るグループより >

1月5日の通所初日はみんなで「書初め」をしました。好きな言葉や大事に思っていることなどを書きました。みなさん、久しぶりの半紙に墨汁の感触をとても楽しめているようでした。しばらくの間、3階の廊下に掲示してありますので、ぜひ見に来てください。(大山 記)



## < 4F グループより >

昨年の通所最終日に忘年会として「チョコレートの家デコレーションコンテスト」を開催しました。板チョコを組み立てて作った家にデコレーションをしてグループで対決!!



いざスタートすると、家を組み立てることに大苦戦…。時間がなくて慌てて作るグループや組み立てる前から板チョコが割れているグループもあり、大騒ぎでした(笑)。

審査員に審査してもらって見事1位を勝ち取った家はホームページに投稿しています。

詳しくはWEBで(^o^)/ 「チョコの家」で検索してみてください♪ (春日 記)



## ボランティアさん募集

綾瀬あかしあ園では、日常的な活動をお手伝いいただける方、外出、行事に参加いただけるボランティアさんを常時募集しております。詳細につきましては地域ボランティア担当神野(じんの)・西川・尾臺(おだい)までお気軽にお電話でお問い合わせください。

電話 03-5682-7272

(地域ボランティア担当)

## 2月の予定

- 7日 クラブ、防災訓練
- 17日 全体保護者会
- 28日 陽だまり



< 編集後記 >  
東京の都心でも雪が降りましたね。まだまだ寒い日が続くようなので、体調を崩さないようにお気をつけください。  
(尾臺 記)

